

南あわじの 文化財



指定文化財以外を掲載しています。

－見学の注意－

- ・文化財を傷付ける行為は、おやめください。
- ・駐車場がないところは、通行の妨げにならないようご注意ください。
- ・庭園など私有地内にある文化財の見学には、十分ご注意ください。
- ・丘の松、淳仁天皇陵、当麻夫人墓は、宮内庁管理地で立入禁止です。
- ・行者ヶ嶽砲台は整備されていませんので、けがなどにご注意ください。

さらに知りたい方

南あわじ市指定文化財 『南あわじ市歴史文化遺産』
<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/bunkazai/>



淡路島の中世居館 淡路歴史遺産マップ『淡路国城攻め』
<https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/uploads/sites/13/2023/03/awajisimaoshiromap.pdf>



淡路島日本遺産 『淡路島ガイドブック』
https://kuniimi-awaji.jp/wp-content/uploads/2022/07/awaji_guidebook_2022.pdf



編集・発行 南あわじ市教育委員会



4. 大炊神社



11. 大和大罔魂神社



18. 成相池堰堤



32. 道路標柱③(福良里程元標)



5. 淳仁天皇 淡路陵



14. 久度神社



21. 円筒分水工③(神代社家)



37. 道路標柱⑧(倭文村道路元標)



9. 常楽寺庭園



16. 淡路人形浄瑠璃(頭、道具類)



27. 淡路鉄道跡



41. 若人の広場(戦没学徒記念塔)



10. 妙観寺庭園



17. 上田池堰堤



28. 天明志士記念碑



46. 行者ヶ嶽砲台



項目	No.	名称	説明
淳仁天皇関連	1	丘の松	最初の埋葬地と伝わり、市陵墓参考地となる。
	2	野辺の宮（のべのみや）	配流された天皇が幽閉された地と伝わる。
	3	寶積寺（ほうしゃくじ）	天皇の位牌を安置している。
	4	大炊神社（おおいじんじゃ）	敷地内にある天皇森が埋葬地と言われ、今も霜よけのこもを埋葬場所に掛けている。
	5	淳仁天皇 淡路陵	明治7年（1874）に陵と定められる。
	6	当麻夫人墓（たいまふじんぼ）	ともに淡路島にきた天皇の御母の墓。
	7	南辺寺（なんべんじ）	本尊（地藏尊）は天皇の持仏だったと伝わる。
庭園	8	金剛寺庭園	座視鑑賞式蓬萊枯山水庭園（江戸時代）。
	9	常楽寺庭園（じょうらくくじていえん）	池泉鑑賞式庭園（江戸時代）。
	10	妙観寺庭園（みょうかんくじていえん）	池泉鑑賞式庭園（江戸時代）。
延喜式内社	11	大和大団魂神社（やまとおおくにたまじんじゃ）	淡路国二宮で、祭神は大和大団魂命。
	12	笑原神社（西宮）（やはらじんじゃ）	延喜式内社で、祭神は素盞鳴命。
	13	湊口神社（みなとくちじんじゃ）	延喜式内社で、祭神は速秋津比古神。
	14	久度神社（くどじんじゃ）	延喜式内社で、祭神は仲哀天皇。
淡路人形浄瑠璃	15	上村源之丞の屋敷跡	初代上村源之丞は人形遣いを淡路島に伝えた百太夫の子と伝わる。
	16	淡路人形浄瑠璃（頭、道具類）	淡路人形浄瑠璃資料館にて見学できる。
近代遺産	17	上田池堰堤（こうだいけえんてい）	農業用としては全国でも古い粗石モルタル造の重力式ダム。高さ 41.5m はこのタイプでは日本一高い。昭和7年（1932）竣工。平成 20 年（2008）土木学会選奨土木遺産に登録。
	18	成相池堰堤（なりあいけえんてい）	農業用の粗石モルタル造の重力式ダム。成相ダム建設に伴い、上部約 5m を残して常時水没している。昭和 25 年（1950）竣工。令和3年（2021）に土木学会選奨土木遺産に登録。
	19	円筒分水工①（市青木）	農業用水を田んぼへ公平に分けるための施設。円筒の中心部に水を湧き出させて、外側に一定の割合で分けられる仕組み。
	20	円筒分水工②（神代社家）	
	21	円筒分水工③（神代社家）	
	22	円筒分水工④（市円行寺）	
	23	円筒分水工⑤（八木養直上）	
	24	円筒分水工⑥（八木鳥井）	
	25	円筒分水工⑦（八木鳥井）	
	26	円筒分水工⑧（八木野原）	
27	淡路鉄道跡	大正11年（1922）～昭和41年（1966）に福良－洲本間を走る。市内には11駅あり、わずかに線路跡が残る。	
石造物	28	天明志士記念碑（てんめいししきねんひ）	天明2年（1782）に起きた、農民一揆犠牲者の顕彰記念碑。板垣退助が撰文、巖谷一六が揮毫し、明治31年（1898）築。
	29	嗚呼此墓（ああこのはか）	天保3年（1832）に藩に町送りの改正を強訴し、追放された弥三助と林太の墓。明治36年（1903）築。
	30	道路標柱①（広田里程元標）	道路元標とは、道路の路線の起点や終点や経過地を表示するための標識のことで、大正9年各市町村に設置された。県下の里程標の起点となる神戸元標から、岩屋・志筑・由良・市村・福良の距離が記されている。明治期に設置されたものについては、里程元標と呼ばれている。
	31	道路標柱②（神代里程元標）	
	32	道路標柱③（福良里程元標）	
	33	道路標柱④（廣田村道路元標）	
	34	道路標柱⑤（八木村道路元標）	
	35	道路標柱⑥（市村道路元標）	
	36	道路標柱⑦（神代村道路元標）	
	37	道路標柱⑧（倭文村道路元標）	
	38	道路標柱⑨（志知村道路元標）	
	39	道路標柱⑩（伊加利村道路元標）	
40	道路標柱⑪（沼島村道路元標）		
戦争関連遺産	41	若人の広場（戦没学徒記念塔）	第2次大戦に動員され亡くなった学徒を追悼する施設として、昭和42年（1967）に丹下健三設計によって建設された。
	42	慈母観音立像と海軍予科練兵慰霊碑	昭和20年（1945）に阿那賀沖で亡くなった宝塚海軍予科練習生らの墓石と顕彰碑、慈母観音像が建立された。
	43	〇〇（まるまる）飛行場跡	昭和18年（1943）に造成された飛行場。何も残っていないが、滑走路のコンクリートや側溝の蓋を土台に利用した家が残る。
	44	門崎砲台跡（とさきほうだいあと）	明治期の国内最大級のドーム型砲台。
	45	笹山砲台跡（ささやまほうだいあと）	消滅のため詳細不明。
	46	行者ヶ嶽砲台（ぎょうじゃがだけほうだい）	砲座や弾薬庫、繋船場が残る。
	47	柿ヶ原堡壘跡（かきがはらほらいあと）	石垣が一部残る。